

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ニチリヨク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員 (氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	719	21.6	△86	—	△99	—	△69	—
24年3月期第1四半期	591	△21.2	△138	—	△140	—	△89	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△5.45	—
24年3月期第1四半期	△6.80	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	円 銭
25年3月期第1四半期	9,963	—	3,448	—	34.6	272.34	—	272.34
24年3月期	10,217	—	3,644	—	35.7	285.07	—	285.07

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,448百万円 24年3月期 3,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	9.2	—	—	△30	—	△30	—	0.00
通期	3,700	7.2	300	57.7	200	47.5	110	87.6	8.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	13,741,014 株	24年3月期	13,741,014 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1,077,086 株	24年3月期	956,086 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	12,734,807 株	24年3月期1Q	13,097,525 株
----------	--------------	----------	--------------

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、「添付資料」P.2「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災や福島原発事故により深刻な打撃を受けたものの、サプライチェーン等の急速な復旧により緩やかな回復が見られました。しかしながら、欧州の財政問題による金融不安や急速な円高の進行、原発の稼働停止による電力不足懸念等、国内産業に与える影響は大きく、景況感の明確な改善には至らず、個人消費は依然低調に推移しており、先行きが不透明な状況となっております。

当社が属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず、特に葬儀業界では、葬儀の小規模・地味化傾向が一層顕著となると共に価格競争が激化し、顧客単価下落という厳しい状況にあります。お墓事業につきましても、景気低迷による購買意欲の減退に伴う霊園への来園顧客数の減少は依然あるものの、当社の売上は前年同期に比べ微増ながら上回るに至りました。補足となりますが、当社業績の季節的特徴として、主力の霊園事業において、春秋のお彼岸時期に合わせての建立を前提とした墓石工事の受注が集中する傾向にあるため、売上の計上は第1四半期、第3四半期は少なく、第2四半期、第4四半期に集中する特徴があります。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高7億1千9百万円（前年同四半期比21.6%増）、営業損失8千6百万円（前年同四半期営業損失1億3千8百万円）、経常損失9千9百万円（前年同四半期経常損失1億4千万円）、四半期純損失6千9百万円（前年同四半期純損失8千9百万円）となりました。

各事業の状況

## &lt;霊園事業&gt;

従来式の屋外墓地につきましては、比較的高価格となる墓地の買い控え及び小規模区画墓地傾向が続く環境下、一つのお墓に多数のお骨を収める共有墓の募集等を進め、売上高は3億2千1百万円（前年同四半期比23.7%増）となりました。

## &lt;室内陵墓事業&gt;

室内陵墓第四号「覚王山陵苑（名古屋市千種区）」は当初計画通り順調な販売実績を上げております。売上高は1億4千3百万円（前年同四半期比44.6%増）となりました。

## &lt;葬祭事業&gt;

葬儀の地味化傾向が一層顕著となり施行単価が下落しております。一方、従来の葬儀の流れである、葬儀社主導の葬儀施行の形態を変革することを目的として、一昨年6月に「ラステル久保山（横浜市西区）」を開業いたしました。当初計画と比して顧客の家族葬・直葬のニーズは高く、葬儀施行件数は順調に推移しております。また、本年6月、ラステル第二号として「ラステル新横浜（横浜市港北区）」を開業いたしました。当社独自のビジネスモデル「ラステル」は今後の葬儀部門の売上に貢献してくると確信しております。売上高は2億5千4百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における資産合計は、99億6千3百万円となり、前事業年度末に比べ2億5千4百万円減少いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、3億6千5百万円減少し、34億1千9百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金3億2千2百万円、完成工事未収入金6千万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、1億1千1百万円増加し、65億4千3百万円となりました。その主な要因は、建物6億5千8百万円、土地3億1千5百万円及び差入保証金1億2千2百万円の増加、建設仮勘定8億6千2百万円及び長期貸付金1億1千万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、1億4千1百万円減少し、34億3千4百万円となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金8千9百万円、未払金8千万円及び未払法人税等8千4百万円の減少、短期借入金1億1百万円及び未成工事受入金4千7百万円の増加によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、8千2百万円増加し、30億7千9百万円となりました。その主な要因は、社債6千1百万円の増加によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、1億9千5百万円減少し、34億4千8百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億6千5百万円の減少によるものです。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点は平成24年5月11日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想からの修正はございません。

## 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,391,890	2,069,391
完成工事未収入金	103,277	43,078
売掛金	111,903	92,220
永代使用権	630,272	587,147
未成工事支出金	305,635	308,562
原材料及び貯蔵品	75,929	73,047
その他	166,733	246,300
貸倒引当金	△29	△24
流動資産合計	3,785,611	3,419,724
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	477,284	1,136,252
土地	1,136,101	1,451,703
その他(純額)	1,079,831	220,093
有形固定資産合計	2,693,217	2,808,049
無形固定資産	115,098	96,010
投資その他の資産		
長期貸付金	355,725	245,127
壺園開発協力金	1,196,546	1,214,163
その他	2,117,309	2,225,594
貸倒引当金	△45,723	△45,019
投資その他の資産合計	3,623,857	3,639,866
固定資産合計	6,432,174	6,543,925
資産合計	10,217,786	9,963,650
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	69,303	45,949
短期借入金	524,402	626,000
1年内返済予定の長期借入金	1,802,354	1,712,927
1年内償還予定の社債	398,000	382,000
未払法人税等	87,885	3,080
賞与引当金	28,500	12,800
その他	665,639	652,100
流動負債合計	3,576,085	3,434,857
固定負債		
社債	333,000	394,000
長期借入金	2,288,651	2,326,203
退職給付引当金	235,816	217,141
役員退職慰労引当金	139,398	142,287
その他	300	300
固定負債合計	2,997,165	3,079,932
負債合計	6,573,250	6,514,789

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,577,852	1,412,585
自己株式	△172,964	△193,968
株主資本合計	3,669,812	3,483,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,353	△17,145
繰延ヘッジ損益	△13,924	△17,535
評価・換算差額等合計	△25,277	△34,681
純資産合計	3,644,535	3,448,860
負債純資産合計	10,217,786	9,963,650

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	591,654	719,312
売上原価	219,141	249,003
売上総利益	372,513	470,309
販売費及び一般管理費	510,702	556,396
営業損失(△)	△138,189	△86,087
営業外収益		
受取利息	4,752	2,019
受取配当金	5,644	5,644
違約金収入	8,840	—
その他	6,707	14,765
営業外収益合計	25,943	22,429
営業外費用		
支払利息	25,089	28,647
その他	3,146	7,113
営業外費用合計	28,236	35,760
経常損失(△)	△140,482	△99,419
特別損失		
固定資産除却損	23	5,273
特別損失合計	23	5,273
税引前四半期純損失(△)	△140,506	△104,692
法人税、住民税及び事業税	2,136	2,089
法人税等調整額	△53,568	△37,401
法人税等合計	△51,432	△35,311
四半期純損失(△)	△89,074	△69,380



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

平成24年7月25日開催の取締役会において、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項の決定をいたしました。

<取得に係る事項の内容>

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 1. 取得対象株式の種類  | 当社普通株式                 |
| 2. 取得する株式の総数  | 300,000株 (上限)          |
| 3. 株式の取得価額の総額 | 80百万円                  |
| 4. 自己株式取得の日程  | 平成24年8月1日 ~ 平成25年1月31日 |
| 5. 取得の方法      | 株式会社大阪証券取引所における市場買付    |